

ニセコ中だより

Heart! Action! Challenge!

協力的で思いやりのある人
健康で実行力のある人
積極的で根気強い人

今年度もひと月になりました
～ 最後のがんばりに期待します ～

校長 森 浩

聞くとところによるとニセコ町の今シーズンの雪の量は20年ぶりだそうです。知り合いに「私が10年前にいたときにも同じように多かったのですが、それ以上ですね」と言うと、「去年は少なかった。校長が雪を連れてきたんじゃないのか」と言われています。

さて、今年度も、3月を残すのみとなりました。今、3年生は高校受検(受験)に向けがんばっています。特に朝の7時40分ごろには、教室で自習をしている3年生がいます。最初は二人だったのですが、最近ではだんだん人数も増えています。些細なことで大きな差がつくことを意識したすばらしい姿です。そんな姿を見るにつけ「がんばって、志望校に合格してくださいね」と心で祈っています。また、面接練習も放課後に毎日のように行われています。最後の仕上げとして、校長と教頭の面接練習も開始されました。その内容をもとに今回の巻頭言を書きます。

「一日の勉強時間はどれくらいですか?」「(平均すると) 1時間くらいです!」

授業ではわかっているのにテストになると点数が取れないという話をよく聞きます。『わかったこと』と『できること』は違います。特に授業中は、教師が生徒の実態に応じて、適切な助言を行うので理解できるものです。それを誤解して、授業でわかったのをできることと勘違いしがちです。さらに、時間がたてば記憶は薄れていくので、授業後に何もしていないでいると、試験で点数を伸ばすことはできません。

このことは、運動競技も同じで、理屈はわかっている、できないのとよく似ています。そのため、運動競技では、技術を上げるために、反復練習をし、それを継続することで技術力を向上させます。学習も同じで、学習内容を自分のものにするためには繰り返して努力することが大切です。つまり、家庭学習の充実が重要なです。時間をかけずに効率よくやりたいのは山々ですが、やはり時間をかけることが大切です。

『継続と反復が実力』につながります。ご家庭でもご理解とご協力をお願いします。

「苦手な教科は何ですか?」「それを克服するために何か努力をしましたか?」

苦手な教科は、授業の内容がわからない、わからないから面白くない、面白くないから勉強したくない、だから、試験で点数が伸びない。点数が悪いから、やりたくない。そして、更に嫌いになる。悪循環です。

私は学級担任をしている時、数学の点数が伸びない生徒には、小1から小6までの問題集を買ってきて、短時間で終わらせることをやらせていました。最初はすらすらできるのですが、考えないとできないところが必ず出てきます。そこを学習させると、中学校の数学で理解できなかつたところが、できるようになることが多かったです。意外にわからない原因は、直近にあるのではなく、過去にあります。

何事にも基礎基本の定着がよく言われますが、根本の原因を探ることが解決の糸口になるように感じます。目先のことにとらわれず、本質を見抜けるようにしたいものです。

～わからない原因は、今ではない場合が多い～

『 $100a + 10b + c$ 』は3桁の整数 を例に挙げてみます。一般的に生徒はこのような文字が入った式になると、突然わからなくなります。この原因の一つは、小学校の算数の最初にあります。

例えば3桁の整数234は、100の束が2つ、10の束が3つ、バラが4つということですね。このことを小学校の先生は、図などを用いて一生懸命に理解させます。本当に頭が下がります。

上記の□で囲んだ部分と下線の部分は同じ概念です。つまり、小学校の算数と中学校の数学は関係性があります。頭では理解していても意外に実感がないものです。似たようなことがほかにも数多くあるようです。

平成29年度保護者アンケート結果 ～お忙しい中ご協力ありがとうございました～

アンケート項目 ※数値は、「十分」を4、「ほぼ十分」を3、「やや不十分」を2、「不十分」を1とした平均です。	平均
各教科の小テストや、定期テストの結果から判断して、お子さんには、基礎的・基本的な学習内容が定着してきている。	2.3
授業が分かりやすい。(英語・数学でのTT指導、ALT活用、授業での話し合い活動や協働して解決する場の充実)	2.4
定期テスト前・長期休業中の教科相談や、学校から出された「学習のすすめ方」を活用するなどして、学習の仕方を理解し、自ら計画的・継続的に学習するようになってきている。	2.4
朝読書や「あそぶっく」との連携による図書室整備などで、お子さんには読書の習慣が身につけてきている。また、学校図書館や「あそぶっく」の利用が増えてきている。	1.9
道徳の授業や体験的活動、挨拶運動をはじめとした生徒会の諸活動、いじめ防止の取組等を通して、道徳心の向上という観点から望ましい成長をしてきている。	2.8
日常的にきちんとしたあいさつや返事をする事ができている。	3.0
学校行事や部活動をとおして、協力することの大切さやみんなでやり遂げることの達成感、自己の役割を果たすことの意義を味わうことができている。	3.2
学校の日常的な安全管理や事故防止により、安全や健康に対する意識が向上してきている。	3.0
全職員による組織的な指導により、お子さん自身と教師との信頼関係、生徒相互の信頼関係を築くことができている。	2.8
職業についての学習を通して、基礎的な理解や職業観・勤労観が育ってきている。	2.6
地域の資源(人・施設・自然)を活用した学習活動をとおして、地域の良さをより深く知り視野を広げている。	2.7
パンフレットの配布や学校だより等により特別支援教育について皆様の理解を得られるよう情報提供が行われている。	2.4
困ったとき、学校に相談することができる。	2.6
学校だよりやホームページ・ブログ、学級通信などで、「学校の考え」や「生徒の活動」が分かりやすく伝えられている。	2.8

今後に向けて

<p>アンケートの結果や皆様からのご意見を踏まえて、今後も全職員の協働による一貫性のある指導に取り組んで参ります。また、コミュニティ・スクールと連携して、地域の教育資源を効果的に活用しながら、教育活動を進めて参ります。</p> <p>自由記述欄には下記のようなご意見をいただきました。全体に関わる内容についての要旨と学校の考えを記載いたします。</p>
<p>○「部活動指導者の適切な配置をお願いしたい」 ⇒ 指導者は、校務分掌業務等とのバランスを図りながら配置をしていきます。可能な限り、1つの部活動に複数の担当者を配置して、生徒の指導・支援を充実させます。また、少年団活動やコミュニティ・スクールと連携しながら、外部指導者の効果的な活用を図ります。</p>
<p>○「学校のことを沢山話してくれます。先生方の話もあり、子どもにとって良い関わりをしてきているんだと感謝しています。」 「先生のお休みなどの情報を伝えてもらい、子どもたちが安心して授業を受けられる環境を望みます。」 ⇒学校だよりや学級通信、ホームページやブログで情報発信に努めております。ご家庭でのお子さんとの会話のきっかけにして頂ければと思います。また、職員の状況については可能な範囲でお伝えしてきました。個別に回答できる場合もありますので、気になる点については中学校へお問い合わせ下さい。</p>
<p>○「苦手教科のフォローアップをより充実させて下さい。」 ・「教育相談の場所や方法に配慮して欲しい。」 ⇒今後も生徒一人ひとりの具体的な実態把握をもとにして、教職員間での授業参観や校内研修を充実させながら授業の改善を進め、学習指導や教科指導の充実に努めます。 ⇒教育相談週間に限らず、普段の生徒とのコミュニケーションを大切にしています。プライバシーに配慮し、今後も、時間や場所を考慮して適切な相談活動を行って参ります。</p>
<p>○その他、設備面での要望もありました。教育委員会と相談しながら、緊急性のあるものから適宜対応して参ります。</p>



3月のおもな予定

1日 1・2年生期末テスト2日目	5日 高校入試下見(3年生)
6日 公立高校入試(学力検査)	7日 公立高校入試(面接試験)
9日 3年生スキー遠足	12日 生徒総会
13日 3年生を送る会	
14日 卒業式総練習・同窓会入会式(3年生)・卒業式準備	※3年生は5時間で下校
15日 第51回卒業証書授与式・卒業を祝う会	
16日 卒業式後始末・公立高校合格発表・職員会議・期末業務のため一斉下校	～3/22(木)まで
20日・22日 大掃除	23日 修了式・離任式(2時間授業 下校バス11:00)・職員会議
24日 春休み ～4/5(木)まで	26日 PTA送別会 18:00町民センター